

## 石井 健のヒーロー

Peter Parker (a.k.a. "The Amazing Spiderman")

ピーター・パークはニューヨーク出身の報道カメラマン(フリーランス)である。特殊なクモに噛まれたことによってスーパーパワーを得、**スパイダーマンとして活躍するようになった。**恋愛や仕事などに常に悩みが尽きず、等身大のヒーローとしてマーベル・コミックの数多いキャラクターの中でも人気のあるヒーローの一人である。

決め台詞は「あなたの親愛なる隣人、スパイダーマン」だが、新聞社アイリー・ピューグルのネガティブ・キャンペーンの影響もあって世間から嫌われているために、このフレーズもあまりウケない。

弱点はアレルギー性鼻炎。**結婚歴有り**だが、2006年の"Civil War"にて他の多くの出来とともに、

「無かったこと」にされた過去を持つ。

以下の様な数々のスーパー・パワーを持つ:

- ・ウェブシューからワイヤー並みの強度をもつ糸状の纖維を発射する
- ・超感覚で危険を感知する(スパイダーセンス)。

### ・壁や天井に、クモのように吸着する能力。

- ・驚異的な怪力、敏捷性、跳躍力・平衡感覚、身の軽さ、動体視力。

そんなピーターだが、妻MJとの結婚がなかったことにされたり(傷心)、壮絶な"Civil War"の巻にて大変な思いをした(披露)こともあり、ニューヨークを離れる決心をする。彼が次の地と選んだのは東京。ギネス公認 **世界最大の都市圏にて、報道カメラマンとしての新たな出発を決意する**のであった。



## 物件探し

スパイダーマンである彼の住まいは化学ラボを備えた研究所でもあり、またカメラマンとして銀塩に拘りを持っているため暗室も必要。自由にリノベーションできない日本の賃貸物件では不十分と考えた彼は、マンション購入を決意する。

ところが、彼は東京の街・不動産を知るにつれて落胆をすることになる。高層ビルの密集地帯が無いためひっそりとベランダから街に繰り出せない…そこで**目を付けたのが首都高速**。高速下をクモ糸伝いに移動する事により、事件へすばやく駆けつけることができることに気づいたのだ。

さっそく物件探しを開始するピーターだが、次々と難題が降り掛かる。まず最初の閑門は外国人、フリーランス、日本での安定収入がない。ゆえに、通常の**住宅ローンが組めないこと**だ。ならば、と逆に住宅ローンが組めない(30m2以下)ために、**安価な価格で取引されているワンルームマンションに目を付ける**。とはいっても、NYでも決して売れっ子ではなく、且つスパイダーマン活動にかかる諸経費も馬鹿にならないピーター、貯金だけでは購入は到底無理。藁にもすがる思いで、特別なケースに対応できる事で有名なS銀行を訪れるのであった。



## リノベーション・プラン

様々な困難に直面しつつも、貯金と500万円の特別ローンにて物件購入の目処がついたピーター。世界で危機が起きたとき、すぐに成田に駆けつけることができる様に箱崎付近の高架沿い物件に狙いを定めた。しかし、いざ内見をしてみると**恐ろしく狭い!** 果たして**買っても住めるのか?**スパイダーマン活動には必須の化学ラボ、カメラマンとしては暗室は外せない、クイーンズの閑静な住宅街で育った彼としては、カウチでテレビを見る習慣も捨てきれない…

案するより生むが易し、ということでは**リノベーション・プラン**をラフに起こしてみることにした。

**リノベーションの醍醐味は多数あるものの、その代表格は「自由度」。**ピーターだけの理想的な住まいを、物件と住み手の特徴を活かしながら組み立てる事に。その結果、彼の特殊技能である「どんなどこでも吸着できる能力」を活かした計画ができる。名付けて、

### 「壁も天井も床として使おう大作戦」。



## ZONE 1 (0 dgrs to gravity)



## ZONE 2 (-90 dgrs to gravity)



## ZONE 3 (180 dgrs to gravity)

